

まほろば



第50号
2005年8月発行

弘前病院の理念

わたしたちは、医の倫理と病院としての使命に基づき患者さまの生命と人権を尊重し良質かつ適切な医療を提供するため、最善の努力をします

【運営方針】

1. 十分な説明と理解・同意に基づく医療を行い、患者さまが納得される結果を得るために最善をつくします
2. 皆さまの立場を理解し、プライバシーを尊重し、感謝の心で、常に良質で、清潔で、安全な医療を行います
3. 職員一人一人が、常に新しい知識と技術の習得に努め、健全で効果的な経営を目指します
4. 臨床研究と教育・研修、情報発信など地域に開かれた病院を目指します
5. 時代に求められる医療体制の充実と療養にふさわしい環境の整備を目指し、全職員が研鑽します

市民講座 7月29日

放射線の画像診断と被ばく管理

放射線科医の仕事は放射線治療と画像診断に分けられ、それぞれの専門医が担当します。最近、IVR(画像診断で使用する機器を用いて、血管内や血管外にカテーテルなどを入れて行う低侵襲の治療)専門医の認定も始まりました。これらの専門医は日本では非常に少なく、多くの医療施設には常勤医がおらず、県内では常勤がいる施設は10施設のみです。当院には画像診断専門医が1名おりますが、昨年秋以降、治療専門医は非常勤となっています。現代の医療において画像診断は医療の質を確保する上で不可欠なものとなりつつありますが、日本ではこのような画像診断が行われているのは全体の検査の2割前後です。

当院の放射線科で行われている画像診断にはCT、MRI、核医学、血管撮影(IVR)が有り、昨年は7300件以上のすべての検査に診断レポートがなされています。画像診断医の仕事の目的は画像診断により的確、迅速な診断を行うことになり、その

ために検査法の計画、指示を行い、診断レポートの作成を行います。放射線科の画像診断はMRI以外はX線被ばくを伴い、不必要的X線被ばくを減らすことでも大切な仕事です。



CT検査は、最も広く行われている画像診断の一つです。この検査による利益は非常に大きいのですが、的確なX線被ばくの管理が必要とされます。日本では世界のCTの1/3が稼働しており、国民1人あたりのCT検査も多く、これによる被ばく量は世界で最も高くなっています。X線被ばくによる癌の発生増加、若年者への影響が問題となっており、専門医による検査の適応の有無、検査法の最適化などによる被ばく管理が必要な検査の一つです。X線被ばくの胎児への影響では、まだ誤解が多く、妊娠女性へのX線被ばくを原因とする間違った中絶がまだ行われており、問題となっています。最近の画像診断の話題ではPET-CTがあります。これは癌の診断に非常に有効で、被ばく量も通常のCTより低く、癌の診断のために要する時間と不必要的X線被ばくを減らす効果もあります。ただ、保険適応が非常に狭く制限されており、十分にその能力を発揮するには保険適応の拡大などの問題があります。

放射線科医長 佐々木幸雄



西3病棟から出火！ 日中の出火を想定した防災訓練を実施

6月22日（水）14時30分から、西3病棟リネン室を出火場所とする防災訓練が行われました。

訓練は、火災発見後の消化器による初期消火と屋内消火栓による消火活動、自動通報装置による119番通報と非常放送設備を用いて通報伝達と避難誘導等の総合的訓練を実施し、災害時の円滑な態勢の確立を図り、併せて職員の防火意識の高揚を目的として行われました。

訓練終了後、枠形消防分署の担当官から講評があり、「院内通報、119番通報そして館内放送は良好でした。火災の通報を受け、事務室職員が連絡を取り、119番通報、消防署からの逆信にも確實に対応していました。

ただ、病棟から1階に降りて本部に避難するまでの間、患者さんと職員の方々が通路を広がって歩いていました。火災時には消防隊がかなりの数、出動します。避難



防火訓練



誘導時には、患者さんの前後左右に職員が付いて消防車輌等との接触事故がないよう気を配っていただきたい。勿論、車両の進入には充分気をつけますが、患者さんの安全を確保して避難誘導にあたって下さい。」との一部厳しい評価をいただきました。

その後、消化器操作訓練と救助袋操作訓練を行い、防災の心構えを再認識しました。

秋には夜間を想定した防火訓練を行いますのでよろしくお願いします。

庶務班長 高見 茂

★★★★★★★★ リーダー研修Ⅰに参加して ★★★★★★★

卒後4～8年目の6名を対象に7月7日地域研修センターにて、リーダー研修Ⅰが行われました。事前レポートで皆からでたアンケートの結果をもとに「リーダーシップとは？」についてグループワークが行われました。私はチームで仕事をしている為、リーダーであってもメンバーであっても周りの状況を見て進行状況を確認し、声をかけあって業務が円滑に遂行するようにしなければなりません。その上で采配するのがリーダーの役割であり、リーダーはメンバーの仕事内容を把握し情報をメンバーへ伝える役割。また、リーダーに余裕がないとメンバーが話しかけづらく、情報や状況を把握することができないので相手の話しを聞く姿勢をもつこと。常に、ほう・れん・そう（報告・連絡・相談）を心がける事。目標（病棟目標、患者目標）を達成できるように仕向ける働きと達成できなかった時の振り返りをする等がありました。リーダーとメンバーであってもメンバーどうしの間でもコミュニケーションの大切さを改めて感じました。そして、普段からなんでも自由に話せるなごやかな雰囲気作

りを心がけよい聞き手となり自分がコミュニケーション能力を磨く訓練をしていかなければならぬことを学びました。

研修のなかで「あなたのさわやか度チェック 暮らしの中の20のあいさつ」という点数をつけるテストをしました。よい仕事はよいコミュニケーションから。挨拶が不十分であれば、コミュニケーションも支障をきたしますという主旨で、普段の生活のなかでこんなにも挨拶する機会があるのに逃していることに驚きました。挨拶するとする側もされる側も気持ちのよいもので自然と和やかな雰囲気になりますよね。

今回の研修に参加することで、今までの自分を振り返ることができ、さらに看護の質を高めるために自分ができることを考える良い機会になり、有意義な研修でした。



母子医療センター 佐田 ゆかり

外来診療一覧

◆外来医師診療一覧表 (H17年8月1日現在)※学会、出張等により担当医師が変わる場合があります。

診療科	月	火	水	木	金
内 科	長谷川 武久	小沢 一浩	長谷川 武久	小沢 一浩	小沢 一浩
呼吸器科	山本 勝丸	中川 英之	中川 英之	山本 勝丸	中川 英之
消化器科	佐藤 年信 吉 谷 元	佐藤 年信 中 畑 元	佐藤 年信 吉 谷 元	中 畑 元 (吉 谷 元)	佐藤 年信 中 畑 元
精神科 (外来診療は休診中)	● 休 診	● 休 診	● 休 診	● 休 診	● 休 診
小児科	杉本 和彦 小野 村 由美子	野村 由美子 遠藤 泰史	杉本 和彦 神田 進	神田 進 遠藤 泰史	杉本 和彦 小野 村 由美子
外 科	山中 祐治 木 村 寛	高橋 克郎 三 上 勝也	横山 昌樹 横山 中 祐治	横山 昌樹 高橋 克郎	三上 勝也 木 村 寛
整形外科	柿崎 寛 佐々木 資成 近江 洋嗣	柿崎 寛 菅原 卓	佐々木 資成 柳澤 道朗	佐々木/柳澤 道朗 大鹿 周佐	柿崎 寛 柳澤 道朗
脳神経外科	午前 /	/	/	/	柿崎 寛
皮膚科	午前 鳴海 博美 間山 淳	間山 淳 鳴海 博美	鳴海 博美 間山 淳	鳴海 博美 間山 淳	間山 淳 鳴海 博美
泌尿器科	午前 小林 大樹	小林 大樹	小林 大樹	小林 大樹	小林 大樹
産婦人科	真鍋 麻美 葛西 亜希子	佐藤 春夫 葛西 亜希子	真鍋 麻美 葛西 亜希子	妊娠検診	佐藤 春夫 真鍋 麻美
眼 科	午前 田 中 洋	蒔 苗 順義	田 中 洋	蒔 苗 順義	田 中 洋
耳鼻咽喉科	午後 蒔 苗 順義	/	/	蒔 苗 順義	/
放射線科	午前 黒田 令子 山本 洋平	黒田 令子 山本 洋平	● 手 術	黒田 令子 山本 洋平	黒田 令子 山本 洋平
麻酔科	午前 佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄
	午後 /	阿部 由直	/	/	/
		高澤 鞠子 工藤 明	● 手 術	高澤 鞠子 工藤 明	● 手 術

◆専門外来等 (H17年8月1日現在)※詳しい診察内容及び予約等については、各診療科にお問い合わせ下さい。

診療科	月	火	水	木	金
小児科	午前				
	午後	10ヶ月健診 1歳健診	アレルギー外来 発達外来 4ヶ月健診	1ヶ月健診 7ヶ月健診 予防接種	慢性疾患外来
外 科	午前			ストーマ外来 (第2水曜)	
	午後				
産婦人科	午前			妊娠健診	
	午後	更年期外来		妊娠オリエンテーション	妊娠健診
耳鼻咽喉科	午前				
	午後		内視鏡外来		補聴器外来
セカンドオピニオン	午前				予約
女性専用外来	午後			第1・3水曜日	

ふれあい看護週間 高校生の一日看護体験

今年も7月28日(木)一日看護体験を実施しました。県内8カ所の高等学校から21名の高校生が参加されました。高校生にとってこれから進路を決める機会となり、とても有意義な一日になったようです。生徒の皆様はしっかりとした目的意識を持って「一日看護体験」を希望されていたので、体験後にどのように意識が変化するのか期待とともに責任の重さも感じていました。



浴、注射、心マッサージなどの演示や妊婦体験をしてもらい、午後からは白衣に着替え病棟での体験をしました。患者様に接することの不安や緊張感も次第にうすれ、笑顔で楽しそうに会話をしていました。車椅子での移動、足浴など患者様との実際の関わりをとおして「看護の道」がより現実的に

今年初めての試みとして、当院附属の看護学校教員と学生による学校の紹介、モデル(人形)を使用して洗髪、沐浴、注射、心マッサージなどの演示や妊婦体験をしていました。



なり「私は絶対看護師になります」という心強い決意を込めた意見を聞くことができ、私たちの今後の励みにもなりとても良かったと思っています。



「高校生の一日看護体験」

一生徒の

アンケートから

- ・祖母が病気になり変わり果てた姿を見ているだけで、手を握ることさえできなかった。その事を悔やんできたが、今回の体験で祖母にできなかつたことができとても良かった。
- ・看護学校で今まで知らなかつた心マッサージや妊婦体験ができとても良かった。
- ・患者さんの手や足を洗ったりお話しすることができ、とてもうれしかつた。必ず看護師になって患者さんに元気を与えるたい。
- ・看護師はとても忙しそうだったが、いつも患者さんに接する時は笑顔を見せすごいなと思った。患者さんが「看護師の笑顔が薬より何より効く」と話されていた。私もそんな看護師になりたい。
- ・進学したいと思っていた看護学校の説明を聞くことができ良かった。夢が叶えられるよう頑張りたい。

副看護部長 古川 恵子

平成18年度看護職員の採用説明会開催

— 北海道東北ブロック主催 —

来年度の北海道東北ブロックでの看護師採用にむけて、7月24日(日)当院看護学校体育館において採用説明会が行われました。

説明会は、北海道東北ブロックによる独立行政法人国立病院機構について、待遇等について、看護職の教育・研修について説明が行われ、その後、各ブースでの病院の紹介が行われました。



〈当院のPR〉
日本一のリンゴと桜、それに秀峰岩木山にあやかり、がん医療と育成医療の日本一を目指し、職員が一丸となってチーム医療の充実に取り組んでおります。

また、看護部がめざすものは、「患者様を中心の医療」を大前提に、学校で学んだ知識と技術を自分の



採用説明会

優しさと思いやりに加味した看護を患者様にお届けできる職場であることをモットーに、卒後教育は日々の実践の上に能力開発プログラムに沿って一人一人の意欲を支援しながら段階的に進めています。患者様はもちろん、市民の皆様から「弘前病院を受診して良かった」と満足していただけるような、患者様中心のチーム医療を推進します。

なお、採用試験の願書受付は9月9日(金)まで、採用試験は9月15日(木)です。

職員班長 漆原 正芳